

4. 中原区構想素案に対する御意見と市の考え方

対象項目	整理P NO	意見の要旨	市の考え方
めざすべき都市像	401	<p>中原区の顔ともいべき等々力緑地をはじめ、多摩川河川敷はまちの財産だと思います。知人から聞いたのですが、中原という工場の多い街のイメージが強いようです。等々力緑地のような緑があることが知られていないようです。これからはまちのイメージづくりが大切だと思います。せっきくのこれだけの緑があるので、もっとPRできるような街づくりを期待します。駅を降りたところから、緑の街を予感させるような演出や、等々力緑地への楽しい歩道など魅力あるまちづくり、まちの顔づくりが必要と思います。</p>	<p>御意見の趣旨につきましては、中原区構想素案におきましても、P16 3(3)水と緑のネットワーク、P37 1(2)豊かな緑をつなぐ緑のネットワークの形成、P41 1「まち」の魅力向上のための環境整備をめざします等の項目の中に反映されているものと考えております。御意見の趣旨につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
土地利用	402 18	<p>土地利用の基本方針に示されているように、小杉駅周辺地区を、広域拠点にふさわしい、にぎわいのあるまちとして、整備・発展させてゆくことが、中原区全体のまちとしての核作りという観点から非常に重要な課題であると感じております。現在の東急東横線武蔵小杉駅の東南側は、大きく開発が進められ、今後の発展が大変期待されます。</p> <p>一方で、JR武蔵小杉駅の北側方面については、駅前整備されているものの、現状のまちの奥深さに欠ける状況であり、南の開発が進むとさらに南北の格差が拡大し、取り残されてしまうのではないかと危惧しております。ぜひ、北側についても、南側と同じように街づくりを進めていただき、商業やサービス、公共施設、憩いの施設など街の機能を誘導していただきたいと思っております。また、南側のようなランドマークとなる建物も期待します。</p> <p>川崎の広域拠点として、業務核都市に位置づけられている小杉地区については、中原区の小杉駅から北西方向のエリアのまちの顔としての均衡のとれた発展が重要と考えます。すでにJR武蔵小杉駅の北側地区も再開発を促進すべき地区として指定されているとうかがっております。小杉駅周辺地区については、現在の駅から全方面への均衡な発展が推進されるような基本構想の策定を希望いたします。</p>	<p>小杉駅周辺地区では、現在駅南側の再開発等が進められておりますが、中原区構想素案P18 1の項に示すとおり、駅北側も含め、商業・業務・文化・交流・研究開発等の諸機能集積と優良な都市型住宅の建設を適切に誘導し、本市の広域拠点にふさわしい、にぎわいのあるまちをめざすこととしております。小杉駅周辺地区の再開発等具体的取組に対する御期待、御意見と考慮、今後の取組にいかしてまいります。</p>
	403	<p>小杉周辺の発展が大変楽しみです。鉄道のターミナルとして便利な街になると思います。ぜひ、二子玉川や自由が丘、代官山とかのようなおしゃれで人気のある街にしてください。</p>	<p>小杉駅周辺地区の再開発等具体的取組に対する御期待、御意見と考慮、今後の取組にいかしてまいります。</p>
	404	<p>インターネットで膨大な数の資料を拝見しました。都市計画というと、川崎駅とか小杉駅とか最近ますます発展していくようで、いろいろ楽しみです。</p> <p>その中の「策定の趣旨等」というのがあり、「市の基本構想」との整合、県が定める「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」との整合というのがありました。「川崎再生フロンティアプラン」というのはわかるのですが、県の計画との整合性というのが具体的にどうなっているのかよくわかりません。</p> <p>以前、開発事業の都市計画の説明会で、再開発の方針のエリアを示した図があったのですが、確か県が何かの方針だったと思います。マスタープランというあの様な事柄との整合性という意味なのでしょうか。そうであれば、あの様なエリアは、どの部分に示されているのでしょうか。</p>	<p>全体構想構想素案P18 都市構造の方針図 について、神奈川県が決定する川崎都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針(川崎都市計画都市再開発の方針)において、特に一体的かつ総合的に市街地の再開発を促進すべき相当規模の地区として定める「2号再開発促進地区」等についても表現を追加してまいります。</p>

<p>土地利用</p>	<p>405</p>	<p>私は、以前中原区に長年生活しておりました。そして今回、武蔵小杉の再開発区域に入居が決まり、大変愛着ある中原区に戻ることとなりました。実際に計画を立てる際、住民の意見として取り入れてくだされば幸いです。</p> <p>再開発の内容から見てくることは、交通の利便性ばかりを頼る予想以上の住居の乱立でした。大げさに書かせていただければ、電車が便利であれば、人はいくらでも集まる。しかし、これには限界があるのではと不安になりました。折角の再開発ですから、利用する人々が心地良くなる街、また将来的にも価値が上がる街になることを願っております。</p> <p><不安点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・風の心配 : NECの辺りを通ると強風が多いため、高層完成後には更に悪化するのではと心配です。 ・圧迫感: 工事が進むたび毎に、高層の圧迫感が増してきています。更に増えるとなると窮屈で、非常に居心地が悪いのではと心配です。 ・将来の過疎化 : 今後、人口は減少していくにもかかわらず、これ以上多量な住戸を供給すると将来的には過疎化が進み、負の地域になってしまうのではと不安です。 ・幼稚園、保育園等が少ない : 住戸が大量に増加するにも関わらず、幼稚園、保育園等が少なすぎるのではないかと感じております。もしも、子供の流入が一時的と考えていらっしゃるのであれば、なおさら心配です。一時的な増加であるなら、武蔵小杉の将来は、高齢化、人口減少、過疎化、負の街ということになります。そうならないためには、学校等を充実させ住み心地をUPすることが重要だと思われます。結果、自ずと魅力的な街になり、人口も流入するのではないのでしょうか。また、交通の便が良いということは、共働きの夫婦も多いのではと予測できます。ならば、給食を増やす、バスの送り迎えをする等の付加価値も大きなポイントになってくると思います。そういった多種多様なソフト面も併せて充実させれば、インターネットが普及している昨今、評判も口コミで広がりフレッシュな人口流入も可能だと思います。 	<p>都市計画の基本方針である都市計画マスタープランには具体的な施策の列挙はできませんが、御意見の趣旨につきましては、中原区構想素案 土地利用の方針、交通体系の方針及び都市環境の方針において、反映されてるものと考えておりますが、小杉駅周辺地区のにぎわいのあるまちをめざし、具体の再開発事業等の取組を進めてまいります。</p> <p>以下で、個別の御指摘に対して回答いたします。</p> <p>具体の開発が進んでいる高層建築物につきましては、日照、風、景観など周辺環境へ与える影響については条例環境影響評価を実施する一方、地区計画を活用しながら適切な土地利用を誘導しております。幼稚園、保育園等が少ないという御指摘につきましては、中原区構想素案P22 3(4)良好な住宅づくりとコミュニティを活かしたまちづくりの項において、基本的考え方として反映されていると考えております。</p>
-------------	------------	--	--

<p>交 通 地 体 利 系</p>		<p>・商業施設が住戸に比べて少ない：上記の学校同様、魅力的な店舗が増えれば済み心地が良くなることは必死です。再開発が完了していないと言う理由もありますが、現状あまりに乏しい施設内容だと思われます。例えば、仙川などは、クリーンな街づくりで都心から離れていても、値崩れせず人気が出ているようです。風俗店・パチンコ店等は排除、昔ながらの優しい商店街を残しつつも、おしゃれで実用的な店舗を増やし、美術館も設ける。活性化の一例だと思われます。武蔵小杉は、非常に広範囲な大規模再開発。もっとももっとももっと魅力的な街づくりができるのではないかと期待しております。</p> <p>・高齢者への対応：素案にもバリアフリーのことは記載されておりましたが、具体的ではないので見えてきませんでした。武蔵小杉は、交通網が発達して非常に便利なため、人の流れが非常にはやく、高齢者、障害者には大変歩きづらいと思われます。再開発後は、バリアフリー化を徹底することで高齢者、障害者に優しい街が形成されることを期待しております。（専用通路、ベンチ、バス、見やすい表示方式、憩いの場等）</p> <p>・モータリゼーションへの対応：現状では綱島街道・府中街道の渋滞が間違いなく予想されます。結果、バスなどの利用が倦厭されるばかりでなく、駅周辺の無法駐車・違法駐輪が続発し、小杉駅そのものの魅力が落ちていくことが懸念されます。そのため、これ以上の乱立されないよう、正しい規制を取り入れることが必要ではないでしょうか。無法駐車・違法駐輪は大変見苦しいです。徐々に、武蔵小杉で降りた時、違法駐輪の多さで街が大変汚く見え愕然としました。</p>	<p>商業施設の不足という御指摘につきましては、中原区構想素案P18 1(1)広域拠点にふさわしいにぎわいのあるまちづくりの項において、基本的考え方として反映されていると考えております。なお、現在進められている再開発等において、一定の商業施設の整備が予定されております。</p> <p>バリアフリーに関する御指摘につきましては、具体的なバリアフリー施策は記述しておりませんが、中原区構想素案P19 1(2)地域と連携したまちづくりの項において、基本的考え方として反映されていると考えております。</p> <p>駅周辺の違法駐車、放置自転車対策につきましては、中原区構想素案P34 3(2)自転車等駐車場の整備と利用環境の向上の項において、基本的考え方として反映されていると考えております。</p> <p>公園・緑地等の整備につきましては、中原区構想素案P42 4(1)都市的資源と歴史的資源を活かした中原区らしい街なみづくりの項において、基本的考え方として反映されていると考えております。</p>
<p>都 土 市 地 環 境 利 用</p>	<p>406</p>	<p>・公園など緑地化計画の欠如：真の「にぎわいのあるまちづくり」とは何でしょうか。前記の例にもございます仙川・たまプラーザ・二子玉川などは、住居とともに商業施設・文化施設が集積されておりますが、さらに一定の割合で公園・緑地が随所に配置されています。これは、行政のマスタープランに基づく指導にほかなりません。こういった「量」より「質」を求めた都市計画こそが、武蔵小杉という未来都市に必要なだと思っております。</p> <p>以上、大変稚拙な文章となってしまったこと、お許し下さい。ただ、中原区への愛着、そして期待は大変大きなものと自負しております。より良い再開発になることを切に願っております。</p>	

交通体系	407	33	<p>「歩くことが楽しく、自転車と共生できるまちを育む」大賛成です。小杉周辺は開発が進み、横須賀線の新駅ができるなど、大変便利になるのが楽しみです。この中心部へ安心して快適に歩いてゆけるまちは素晴らしいと思います。</p> <p>今は、たとえば南武線沿線道路も歩道はあるのですが、狭いので、人や自転車がすれ違うのに、はらはらする状況です。特に傘をさしているときや、荷物を持っていると、落ちていて歩けません。ぜひ、安心して楽しく歩き、すれ違えるような歩行者のことを配慮した街づくりが進むような基本構想としてください。</p>	<p>中原区構想素案及び小杉駅周辺地区の再開発等具体の取組に対する御期待、御意見と考え、今後の取組にいかしてまいります。</p>
	408		<p>元住吉駅へのアクセスが徒歩に限られています。そこで、2点、意見を述べさせていただきます。</p> <p>自動車でのアクセスが可能なように、駅東側の線路沿い道路(オズ通り側で駅から武蔵小杉側に延びている道路)を自動車路とし、駅へ自動車で送迎できるようにお願いします。または、元住吉駅の改良に合わせて、市も駅広整備をお願いします。</p> <p>自転車でアクセスが可能なように、駅直近に自転車とバイクの駐輪スペースを設けてください。駅の北側にありますが、遠くて利用が不便です。特に、駅に接する三菱銀行の前は民間施設とは言え、ロープを張り、さらに歩道にはコンクリートの固まり(ポラード)が置かれ、買物・通勤路を塞いでいます。バス交通が不便ですので、遠くから駅に来る方は自転車を使わざるを得ません。バスは日中は運行していませんので、自転車は必須です。</p> <p>構想ではプレーメン通りから西にしか都市計画道路が延びていませんが、この道路は歩行者専用化しているので、オズ通りにも繋がるように整備してください。より住みよいまちにするために、よろしく願いいたします。</p>	<p>都市計画マスタープランでは、具体的な整備事業等の記述をしておりませんが、御指摘の駅周辺の交通施設の改善や道路空間の改善につきましては、中原区構想素案P20 2(2)交通結節点としての地域交通環境の整備の項において、市民・事業者と連携した取組の基本的考え方等を記述しております。</p> <p>都市計画道路の整備の考え方につきましては、都市計画マスタープランの策定と並行して、平成17年度から「都市計画道路網のあり方」検討を行っております。</p> <p>都市計画道路のあり方や都市計画道路の見直しの基本的考え方について平成18年4月に中間答申を行い、パブリックコメントを実施し、広く皆様の御意見を伺い、見直し対象路線・区間の選定、路線別見直し方針について明らかにしてまいります。また、個別路線ごとの整備計画については、平成18年度に「道路整備計画」の策定作業を行っておりますので、今後10年間にわたる事業は、その中で明らかにしてまいります。</p> <p>御意見の趣旨につきましては、これらの検討を進める上で参考とさせていただきます。</p>